

町長伝言板「故郷を想う心に感銘」

去る8月7日から14日まで、ペルー熊本県人会創立100周年記念式典出席のため、上田健一町議会議長および企画

財政課長と共にペルー共和国の首都・リマ市を訪問しました。

本年4月に平岡ルイス名誉会長および八重子会長のご家族が氷川町において、正式招待を受けていたもので、

昨年の熊本県人ペルー移住115周年記念式典に続き、2回目の訪問となりました。

成田空港からメキシコシティ空港を経由し、リマ空港に着くまで約20時間の空の旅はさすがに疲れしました。

翌日の午後、小野熊本県副知事一行と合流し、日秘協会会長をはじめ、熊本県人会役員を表敬訪問いたしました。2年連続の訪問のため、会話も弾み、親睦を深めることができました。

3日目は、土屋在ペルー大使と面会し、最近のペルー情勢を聴取した後、外務省を訪問、ポポリシオ外務大臣夫妻ならびにエスカラ外務省アジア大洋州局長と会見し、日本との



▲ペルー熊本県人会創立100周年記念式典



▲ギンナンうきを記念品として贈呈

関わりやペルー社会における日系移民の活躍をお聞きしました。その後、大統領府視察およびリマ市長を表敬訪問しました。午後は、国会議事堂を視察、議案はペーパーレス化され、議員席にはタブレットが1台ずつ置かれていました。その後、平岡ルイス氏が経営されている電気店を視察、多くのお客様が来店されており、その賑わいに一同驚きました。

4日目は、ペルー海軍練習艦ウニオンを視察、日本の「氷川丸」



▲ペルー海軍練習艦ウニオンを視察



▲メキシコ熊本県人会と交流しました

さ、故郷熊本を想う気持ちを改めて感じさせられた素晴らしい記念式典でありました。

5日目は、平岡会長の別荘で、地元県人会の役員家族を招いての交流会に参加し、ペルーの伝統的な料理パチャマンカを食しました。

その席で、平岡ルイス名誉会長より「ペルーは貧富の差が激しい国で、日々の暮らしにも困窮している国民が多数おり、私たちもできる限りの慈善活動を行っている。そこで、熊本県および氷川町から使わない衣類などがあつたら送ってほしい」と申し出がありました。

氷川町においてもできる限りの支援を行いたいと考えております。今後準備を進め、お知らせしますので、町民の皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

6日目は、メキシコシティ市内を視察するとともに、メキシコ熊本県人会役員の皆さまと交流しました。移住後の生活ぶりを涙ながらに語られ、大変なご苦労があったことを痛感し、もらい泣きをいたしました。

同時にそれぞれの県人会の皆さまのふるさと熊本への望郷の念の深さを改めて感じ、故郷を離れて暮らす地元出身の皆さまが誇れる町を築いていかなければならないと決意を新たにする旅となりました。

このような機会を頂いたことに深く感謝いたします。

のような帆船で、訓練のため世界各国へ航海されているようでしたが、まだ日本へは寄港されていませんでした。

夕方は、今回の訪問の目的であるペルー熊本県人会創立100周年記念式典に参加しました。式典会場はリマ市内のゴルフ場の一角に特設会場を設け、式典には、先日お会いした外務大臣夫妻、アジア大洋州局長夫妻ならびに在ペルー日本大使をはじめ、多くの外交官も出席され、私も氷川町を代表して、祝辞を述べさせて頂きました。

熊本県人会の皆さまのペルー社会における貢献の大き